

議会だより

北島町議会



議会ホームページ

左から

北島 昭文
灰田 菊藏

伊勢 政二
羽坂登志馬

坪内 律雄
板東 泰史

宮本 敬行
中野真由美

武山 光憲
佐々木紀子

増谷 穎通
橋本 典幸
梶 哲也

第23号
発行
北島町議会
広報編集
特別委員会

議長就任のご挨拶

北島町議会議長 羽坂 登志馬

皆さまの審判を受けまして、新しく二名の議員を加え、令和の新时代を歩み出しました。多くの町村で、人口減少が大きな問題となっていますが、有り難い事に、

北島町は人口増加が続きます県下で唯一の町であります。今一度、この事を議員全員が肝に銘じ、五年後、十年後の北島町のためのしっかりと土台作りに、又、独自の自治の姿を発信できますように、清々と努力をしてまいります。どうぞ今後とも町民の皆さんからのご指導をよろしくお願いいたします。

議会モニターとは？

町民の皆さんに、本会議や、一般質問、常任委員会を実際に傍聴してもらい、町民目線でのご意見を広く聴取し、今後の議会運営等に反映していくことを目的としています。開かれた議会を目指すものです。

議会広報モニターとは？

議会が定期的に発行している広報誌「議会だより」について、よりも多くの人に「読んでいただける紙面づくり」を目指して、広報のあり方や、内容についてご提案していました。また、広報委員とともに紙面に反映させていくことを目的としています。

**北島町議会モニター・
北島町議会広報モニター募集!!**

議会の主な活動

北島町議会町民会議

議会と町民の皆さまとのあり方を取り決めている「議会基本条例」に基づき、町民や町の団体（商工会、婦人会、老人会、PTA役員、防災組織、保育職員等）との幅広い意見交換により、より良い町づくりを目指し、ご意見等を町政に反映させていくことを目標に開催するものです。

前回の会議では、「町づくり」「子育て支援」「防災」などのテーマを設け、グループに分かれて意見を交換しました。最後に、各グループで話合った内容をホワイトボードに掲示して発表するなど、テーマ別に取り上げた様々な意見を、参加者全員が共有できるようにしました。

中学生との一般会議

二〇一五年から毎年開催しています。子どもたちが将来、北島町に郷土愛・愛着を持つもらえるよう、また投票年齢が十八歳に引き下されたことについては、主権者教育の一環に繋がるようにと考えています。

議場において、定例会での一般質問などからのスタイルで、中学生より質問を受け、議員が答弁します。中学生からは、鋭い再問もあり、時折ベテラン議員

も圧倒される白熱ぶりです。また提案のあつた質問には、後日、議長から町長に提出しております。内容の詳細は議会だよりに掲載しております。

地方分権の推進により、国主導だった権限や財源が、地方自治体に移譲された。これにより本町議会でも、平成十一年より議会改革を推進してまいりました。最近では、町民と議会の取り組みのあるべき姿と取り決めた「政治倫理条例」、

議員成り手不足への議員提案等があり、現在多くの課題の実践に向け取り組んでいます。
今後は、①障がい者等へ配慮した対応（窓口のあり方や防災対策等）、②町民の皆さんへ行政に意見提出ができる請願の促進、③議会を身近なものとして関心を寄せられ、親しんでいたくこと、等を念頭におき推進していく考えであります。

文責・武山 光憲

議員活動年間予定表

| 日 時 | 行 事 名 | 開 催 地 |
|--------|----------------------|-------|
| 6月開催 | 6月定例会 | 町議会 |
| 7月4日 | 四国四県町村監査委員協議会研修会 | 高知市 |
| 7月未定 | 議会議員勉強会 | 町議会 |
| 8月上旬 | 鳴門市議会との合同研修会 | 鳴門市 |
| 8月未定 | 徳島県町村議會議員研修会 | 徳島市 |
| 8月未定 | 徳島県主催町村議會議員研修会 | 町議会 |
| 8月下旬 | 板野郡正副議長と徳島県知事との意見交換会 | 上板町 |
| 9月開催 | 9月定例会 | 町議会 |
| 9月14日 | 北島町敬老会 | 庁舎 |
| 9月29日 | 北島町民運動会 | 北公園 |
| 9月未定 | 議会運営委員会視察研修 | 未定 |
| 10月2日 | 四国四県町村長・議長大会 | 香川県 |
| 10月16日 | 四国地区町村議會議長会研修会 | 徳島市 |
| 10月未定 | 町民会議 | 庁舎 |
| 10月未定 | 総務常任委員会視察研修 | 未定 |
| 10月未定 | 文教厚生常任委員会視察研修 | 未定 |
| 10月未定 | 産業建設常任委員会視察研修 | 未定 |
| 10月31日 | 町村監査委員全国研修会 | 東京都 |
| 11月10日 | 北島町総合防災訓練 | 南小学校 |
| 11月13日 | 町村議會議長全国大会 | 東京都 |
| 11月中旬 | 板野郡議會議員研修 | 上板町 |
| 11月中旬 | 北島町戦没者追悼式 | 庁舎 |
| 12月開催 | 12月定例会 | 町議会 |
| 1月4日より | 徳島駅伝 | 県全域 |
| 1月12日 | 北島町成人式 | 創世ホール |
| 2月未定 | 中学生との一般会議 | 町議会 |
| 3月開催 | 3月定例会 | 町議会 |
| 3月上旬 | 中学校卒業式 | 中学校 |
| 3月中旬 | 小学校卒業式 | 三小学校 |
| 4月上旬 | 小学校入学式 | 三小学校 |
| 4月上旬 | 中学校入学式 | 中学校 |
| 5月中旬 | 中学校体育祭 | 中学校 |
| 5月下旬 | 町村議會議長・副議長研修会 | 東京都 |
| 5月下旬 | 県選出国会議員との懇談会 | 東京都 |
| 5月未定 | 全国コンパクトタウン議会サミット | 宇多津町 |

北島町議会改革

議員成り手不足への議員提案等があり、現在多くの課題の実践に向け取り組んでいます。

北島町議会モニターを募集します

町民からの要望・提言等の意見を広く聴取し、議会の運営等に反映させ、議会をより円滑で民主的な運営にするため、「北島町議会モニター」を募集します。

十名以内

- ◆募集人員
- ◆応募資格
 - ①年齢十八歳以上の町民であること。
 - ②国会議員又は地方公共団体の議員でないこと。
 - ③国又は地方公共団体の常勤の公務員でないこと。

- ◆職務内容
 - ①議会の本会議及び議長が必要と認める会議を傍聴し、当該会議の運営に関する意見等を文書により提出すること。
 - ②議会だより及びホームページに関する意見等を文書により提出すること。
 - ③議会の議員と年一回以上、意見交換を行うこと。
 - ④その他、議長が必要と認めたこと。

- 二年とする。ただし、再選を妨げない。
- 各年度の予算の範囲内において、記念品を支給するものとする。

- ◆応募方法
 - ①氏名、②生年月日、③性別、④住所、⑤職業、⑥勤務先、⑦電話番号、⑧応募理由を記入していただき、郵送・FAX・Eメールのいずれの方法でも受付けます。町のホームページの北島町議会欄にも募集記事を記載しています。

◆募集期限

- (郵送の場合は、〆切当日の消印有効)
- 応募・お問合せ先
- 〒七七一〇二八五 徳島県板野郡北島町中村字上地二十三番地一
- 北島町議会事務局
- 電話 (〇八八) 六九八一九八一一
- FAX (〇八八) 六九八一二一七六
- Eメール gikai@kitajimai.tokushima.jp

北島町議会広報モニターを募集します

議会だよりの企画及び編集並びに議会に関する広報活動全般への意見・提案等を広く町民から聴き、わかりやすく、より親しまれる議会を目指して広報活動を開催するため、「北島町議会広報モニター」を募集します。

五人以内

- ◆募集人員
- ◆応募資格
 - ①年齢十八歳以上の町民であること。
 - ②国会議員又は地方議会の議員でない者。
 - ③議会が行う広報活動に深い関心を持っている者。

- ◆職務内容
 - ①広報活動に関する意見、提言等を述べること。
 - ②その他、議会広報編集特別委員会が必要と認めること。

- 二年とする。ただし、再選を妨げない。
- 令和元年六月二十四日

◆応募方法

- ①氏名、②生年月日、③性別、④住所、⑤職業、⑥勤務先、⑦電話番号、⑧応募理由を記入していただき、郵送・FAX・Eメールのいずれの方法でも受付けます。町のホームページの北島町議会欄にも募集記事を記載しています。

◆募集期限

- (郵送の場合は、〆切当日の消印有効)
- 応募・お問合せ先
- 〒七七一〇二八五 徳島県板野郡北島町中村字上地二十三番地一
- 北島町議会事務局
- 電話 (〇八八) 六九八一九八一一
- FAX (〇八八) 六九八一二一七六
- Eメール gikai@kitajimai.tokushima.jp

※詳細は、北島町議会ホームページをご覧ください。



これからの地域づくり

地域福祉コーディネーター　岡田あかね



新たな委員会構成

(○委員長　○副委員長　令和元年5月より)

北島町議会常任委員会等構成

議長 羽坂登志馬 副議長 橋本 典幸

総務常任委員会

○増谷 稔通 ○坪内 律雄 梶 哲也 板東 泰史 橋本 典幸

文教厚生常任委員会

○伊勢 政二 ○佐々木紀子 羽坂登志馬 武山 光憲 北島 昭文

産業建設常任委員会

○北島 昭文 ○灰田 菊藏 中野真由美 宮本 敬行 増谷 稔通

議会運営委員会

○宮本 敬行 ○灰田 菊藏 武山 光憲 坪内 律雄 伊勢 政二

増谷 稔通

議会改革推進特別委員会

○武山 光憲 ○宮本 敬行 梶 哲也 佐々木紀子 中野真由美
板東 泰史 羽坂登志馬 灰田 菊藏 橋本 典幸 坪内 律雄
伊勢 政二 北島 昭文 増谷 稔通

議会広報特別委員会

○武山 光憲 ○増谷 稔通 中野真由美 羽坂登志馬 橋本 典幸
北島 昭文

予算決算特別委員会

○増谷 稔通 ○板東 泰史 梶 哲也 佐々木紀子 中野真由美
羽坂登志馬 灰田 菊藏 橋本 典幸 武山 光憲 宮本 敬行
坪内 律雄 伊勢 政二 北島 昭文

監査委員

灰田 菊藏 羽坂登志馬 灰田 菊藏

競艇組合議員

板東 泰史 羽坂登志馬 灰田 菊藏

消防組合議員

伊勢 政二 北島 昭文 灰田 菊藏

青少年育成センター組合議員

梶 哲也 佐々木紀子 中野真由美

後期高齢者医療広域連合議員

橋本 典幸 増谷 稔通

国保運営委員

武山 光憲 増谷 稔通

都市計画審議委員

佐々木紀子 中野真由美 宮本 敬行 増谷 稔通

開発公社理事

羽坂登志馬 橋本 典幸 佐々木紀子 北島 昭文 宮本 敬行

労働者福祉協会

羽坂登志馬 橋本 典幸 伊勢 政二 北島 昭文 増谷 稔通

議会広報編集特別委員会では、読者の方からのご意見・ご感想を募集しております。左記の募集要項により手紙、FAX、意見箱（北島町役場3階・議会事務局前）へお寄せください。

募集要項

- ・氏名
- ・住所
- ・連絡先
- ・本文400字以内

北島町お問合せフォーム
<http://www.town.kitajima.lg.jp/inquiry/>



二〇一七年七月、厚生労働省に「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が設置され、高齢者だけではなく支援を必要とするすべての人々を対象とした地域包括ケアの深化を目指す様々な施策が各市町村において展開されています。北島町でも生活支援コーディネーターが配置され、住民主体の地域づくりの摸索が続いている。これまでの地域福祉は対象者別に区分けされ、管理する部署も別に設

置されているという縦割り構造の中で進んできましたが、現実の私たちの日常生活は理想構想のシステムにはマッチしない部分が多く、その「ひずみ」からこぼれ落ちた不安が地域の中に点在している実情を、福祉事業者の立場として何度も目にしてきました。先月行われた投票率が四〇%台という半分に満たない数値となつた北島町議会選挙も、簡単に行政離れという言葉では片付けられない行政と住民との深刻な「隙間」の実態が浮き彫りになっています。町議会と住民の生活の間にあ

たと思います。町議会でも町民の参画を促進するための工夫を重ね、新たなる北島町の発展へ挑もうとされています。平坦な道程ではないかも知れませんが、生地の縦糸と横糸が絡き合うように、行政と住民が誠の意味でフラットに協働しあえる地域づくり、相互の歩み寄り摸索が、今までに動き始めているのだと思います。

昨今全国的に、無投票、議員成り手不足、投票率低下等、さまざまな課題が出ています。近年、本町議会では町民の皆さまが、議会や行政に関わっていただけが、議会や行政に関するシステムや環境づくりを摸索し、協議を重ねておりますが、なかなか実を結んでおりません。今後は、議会モニター・議会広報モニターへの取組みを充実させ、また「町民会議」の開催等を積極的に実践するなど、さらなる広報に努めていく所存でございます。

議会広報特別委員会委員長

武山
光憲

る「見えない壁」とは何なのか。

家庭環境も生活環境も多様化している

近年の複雑な地域社会の現状と併せ、行政と住民との「架け橋」をどう構築していくかという点においては、過去の方法など当てにならず、目前の現場に立ち、

論など当てにならず、目前の現場に立ち、骨格をもつた地域の架け橋になり得るの

身体も心も実動させた者にしか見えない

橋の形こそが、災害にも屈しない強度の

筋骨格をもつた地域の架け橋になり得るの

だと思います。町議会でも町民の参画を

促進するための工夫を重ね、新たなる北島町の発展へ挑もうとされています。平

坦な道程ではないかも知れませんが、生

地の縦糸と横糸が絡き合うように、行政

と住民が誠の意味でフラットに協働し

える地域づくり、相互の歩み寄り摸索が、今までに動き始めているのだと思います。

近年、本町議会では町民の皆さまが、議会や行政に関するシステムや環境づくりを摸索し、協議を重ねておりますが、なかなか実を結んでおりません。

今後は、議会モニター・議会広報モニターへの取組みを充実させ、また「町民会議」の開催等を積極的に実践するなど、さらなる広報に努めていく所存でございます。

編集後記

平成三十一年四月二十一日北島町議会議員選挙により新体制がスタートしました。事前にご周知すべきで

したが、現職議員の申し合わせ事項により、選挙期間中の街宣車（選挙カー）の使用を自粛いたしました。

結果として、投票率が低かったことは、真摯に受けとめ、今後の課題といたします。

は、真摯に受けとめ、今後の課題といたします。

結果として、投票率が低かったことは、真摯に受けとめ、今後の課題といたします。

は、真摯に受けとめ、今後の課題といたします。